

ドアラ 子ども向けグッズ第1弾



(左から) キッズ・エンターテインメントの石黒さん、金城学院大広告研究会の河竹さん、伊藤唯華さん、米山愛璃さん。中日新聞社で

おしゃぶり付きぬいぐるみ

金城学院大生ら 球団とコラボ

金城学院大（名古屋市守山区）のサークル「広告研究会」がプロ野球中日ドラゴンズと共同で、チームのマスコットキャラクター「ドアラ」のおしゃぶり付きぬいぐるみ「パシフレンズドアラ」を作った。子ども向けドラゴンズグッズシリーズ「べびドラ」の第1弾として昨年12月に発売。若いママ世代へのファン拡大を狙う。（西川聡史）

「パシフレンズ」はキリンやクマなど動物のぬいぐるみと、おしゃぶりを組み合わせた商品。ドアラは赤ちゃん向けに普段のユニホーム姿ではなく、かわいらしいロンパース姿をしている。

商品開発のきっかけは、同大卒業生で販売元キッズ・エンターテインメント（同市中区）社員の石黒萌美さん（26）が、広告研究会に持ち掛けたこと。研究会はこれまでに、ドラゴンズを応援する若い女性ファン「ドラ嬢」を増やす企画を手掛けてきており、その一環として、石黒さんと共同で球団側に提案して実現した。研究会は、学生目線での人形やパッケージのデザインに意見を出し、販促用の店頭広告「ポップ」やチラシなども作った。

企画に携わった研究会メンバーで同大二年の河竹真子さん（26）は「会員制交流サイト（SNS）での反応もよく、自分たちのアイデアが実際に商品化されてうれしい」と話す。評判は上々といい、パシフレンズドアラを抱きかかえた赤ちゃんの愛らしい写真が、購入者によってSNSにも投稿されているという。

価格は二千八百円（税別）。ナゴヤドームのグッズ店やドラゴンズのオンラインショップのほか、名鉄百貨店のベビー・子ども服用品売り場で販売している。